

「令和6年度 第1回安定・効率輸送協議会(3部会合同会合)」の議事概要

1. 安定・効率輸送協議会について

日時：令和6年6月13日（木） 16:00～17:30 形式：ハイブリッド（オンライン併用）

2. 議事概要

- 冒頭、国土交通省海事局（以下、海事局）より、本協議会等も活用しながら、皆様も含めた関係者と連携し、持続可能な内航海運輸送のために必要な取組を進めてまいりたいと考えているので、ご協力をお願いしたい旨説明。
- 海事局より、前回の協議会の結果概要について説明。【資料1】
- 海事局より、今年度の取組等を説明し、内航海運業界及び荷主業界に対し、引き続きご協力いただくよう、呼びかけを行った。【資料2】
- 日本内航海運組合総連合会（以下、内航総連）や、日本鉄鋼連盟、石油連盟及び石油化学工業協会（以下、石化協）（各荷主団体）より、「内航アクションプラン」のフォローアップについて説明。内航総連からは、オペレーター（運航事業者）とオーナー（船主）ともに、【法令で義務付けられている項目】及び【ガイドラインで推奨されている項目】は昨年度に比べ実施率が上昇している旨、荷主団体からは、生産性向上・業務効率化等に向けた取組について、昨年度実施していたものに加え、船員の労務負担軽減に資する取組を幾つか新たに実施している旨発言があった。【資料3】
- 内航総連と各荷主団体より、昨年末に作成した物流の適正化・生産性向上に向けた「自主行動計画」について説明。その中で、日本鉄鋼連盟より、内航海運輸送を安定的・効率的に維持していくためには船員の安定的確保を図るとともに、生産性向上を進めていくことが必要不可欠であり、そのためには何ができるか、内航総連の事務局と意見交換を行っているところであり、今後海事局をはじめ、関係者の方々に相談することがあるかもしれない旨発言があった。また、石化協より、船員確保のための協働行動に関する検討事項を含め、海上輸送における「自主行動計画」について素案審議、検討し、今年度中に公表したいと考えている旨発言があった。【資料4】
- 内航総連より、内航海運業界ではオペレーターとオーナーの各事業者が、急激な物価高騰に伴うコスト上昇で厳しい経営環境下にある中で、船員の労働環境改善を通じて船員確保を図るため様々な取組を進めており、荷主業界の皆様にはこうした現状をご理解いただいた上、引き続き、このような意見交換の場へのご参加及びご協力いただきたい旨発言があった。